



平成 22 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ジパング・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田端 一宏
(JASDAQ・コード2684)
問合せ先 取締役管理本部長 亀田 学
電話 03-5468-3691

特別損失の発生及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 3 月期決算において下記のとおり特別損失を計上する見込みですのでお知らせいたします。また、平成 22 年 2 月 10 日に提出いたしました平成 22 年 3 月期の業績予想につきましても下記のとおり修正する見込みですのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

(1) 減損損失

当社は、平成 22 年 1 月 1 日に合併した際に計上致しましたのれん代 2,212 百万円に関し平成 22 年 3 月期決算において評価の見直しを行ったところ、過去の業績及び当期の見込みでは物販事業の減損の兆候を解消するに至っていないため、平成 22 年 3 月末日における未償却残高 2,101 百万円を平成 22 年 3 月期の連結決算において、特別損失に計上する見込みです。

その他、物販事業の操業における固定資産の評価の見直しを行い、平成 22 年 3 月末日のこれら資産額 23 百万円を平成 22 年 3 月期の連結決算及び個別決算において、特別損失に計上する見込みです。

(2) 関係会社株式売却損

当社は、子会社である株式会社ジパングエナジーが保有していた株式会社メディカルサポートの全株式を平成 21 年 11 月 25 日に 65 百万円で売却いたしました。今般メディカルサポート株式会社の純資産額が確定いたしましたので、純資産額と譲渡額との差額 172 百万円を平成 22 年 3 月期の連結決算において、特別損失に計上する見込みです。

(3) 合併関連費用

当社は、平成 22 年 2 月 10 日に開示いたしましたとおり、平成 22 年 3 月期の個別決算において、旧株式会社ジパングとの合併にかかる費用 60 百万円を特別損失として計上する予定でしたが、平成 22 年 2 月 10 日以降、同合併関連費用として事務所統廃合等の費用が発生したため、追加で 16 百万円を平成 22 年 3 月期の個別決算において、「合併関連費用」として特別損失に計上する見込みです。なお、連結決算においては「その他特別損失」として計上する見込みです。

(4) たな卸資産評価損

当社は、物販事業における商品販売計画を見直しました。従来は、多様な商品カテゴリーを多地域にて販売しておりましたが、今後は、取り扱う戦略商品カテゴリーの集中を進め、同時に大都市圏でのインフォーマーシャルでの販売へ変更いたしました。これにより、戦略商品カテゴリーに含まない商品在庫の評価を見直した結果、平成 22 年 3 月末日におけるたな卸し資産のうち 141 百万円を、平成 22 年 3 月期の連結決算及び個別決算において、特別損失に計上する見込みです。

(5) その他

- ① 当社は、平成 22 年 3 月 1 日に事業譲渡いたしましたリラクゼーション関連事業に関しまして、事業譲渡前に閉鎖を決定していた店舗（神宮前店）の閉鎖関連費用 52 百万円、その他損失 48 百万円の合計 100 百万円を平成 22 年 3 月期の連結決算において、特別損失に計上する見込みです。

- ② 当社は、合併に伴う株式買取請求による自己株取得時の損失4百万円、また、その他損失3百万円の合計7百万円を平成22年3月期の個別決算において、特別損失に計上する見込みです。

2. 平成22年3月期 連結業績予測の修正

(1) 通期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	6,543	△923	△1,071	△1,202	△731.73
今回発表予想（B）	6,497	△947	△1,015	△3,741	△829.87
増減額（B－A）	△46	△24	56	△2,539	—
増減率（%）	△0.7	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成21年6月期）	—	—	—	—	—

(2) 修正の理由

売上高並びに営業利益につきましては、予想値を若干下回るものの、それぞれ予想値6,543百万円に対し6,497百万円、予想値△923百万円に対し△947百万円と、ほぼ予想値どおりの見込みであります。

経常利益につきましては、ほぼ予想通りの見込みであります。予想値△1,071百万円に対し△1,015百万円と若干上回る見込みであります。

当期純利益につきましては、のれんの評価の見直し、物販事業の操業における固定資産の評価の見直し、子会社のメディカルサポートの売却、合併関連費用、棚卸資産の評価の見直し、リラクゼーション事業にかかる神宮店の退店損失等が発生した等により、予想値△1,202百万円から△3,741百万円と予想値を下回る見込みとなりました。

3. 平成22年3月期 個別業績予測の修正

(1) 通期（平成21年7月1日～平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） （9ヶ月決算）	5,787	△786	△788	△939	571.63
今回発表予想（B） （9ヶ月決算）	5,591	△716	△699	△1,024	△622.51
増減額（B－A）	△196	70	89	△85	—
増減率（%）	△3.3	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成21年6月期）	6,721	△1,819	△1,839	△2,847	△42,385.24

(2) 修正の理由

売上高につきましては、予想値を若干下回るものの、予想値5,787百万円に対し5,591百万円と、ほぼ予想通りの見込みであります。

営業利益並びに経常利益につきましては、ほぼ予想通りの見込みであります。販売管理費削減への取り組みの結果、それぞれ予想値△786百万円に対し△716百万円、予想値△788百万円に対し△699百万円と、予想値を上回る見込みであります。

当期純利益につきましては、販売管理費の削減と前期損益修正にかかる特別利益の計上による改善がありました。物販事業の操業における固定資産の評価の見直し、合併関連費用、棚卸資産の評価の見直し、自己株取得等による特別損失が発生したことにより、予想値△939百万円から△1,024百万円と予想値を下回る見込みです。

以 上